

都市再生整備計画事業 事後評価シート(原案)

大垣駅周辺地区

平成29年11月

岐阜県大垣市

※記入にあたっての留意事項(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

本様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング(一部の結果)・事後評価・フォローアップの3段階について、記入欄を色分けで区分しています。それぞれの結果を該当欄に記入してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
《第一段階》モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の 任意の時期	
《第二段階》事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。
3. 記入欄が不足する場合には、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入して下さい。
4. 国への提出後、必要に応じて再提出等のために修正を行う場合は、従前の記載内容は削除せず、消し線を用いて下さい

例1)数値等の軽微な修正

【修正前】 ○○整備事業 面積 2,300㎡

【修正後】 2,800㎡

例2)文章の修正

【修正前】 ……するものとし、特に、●●館のイベント等に関する情報を発信していくものとする。

【修正後】 特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

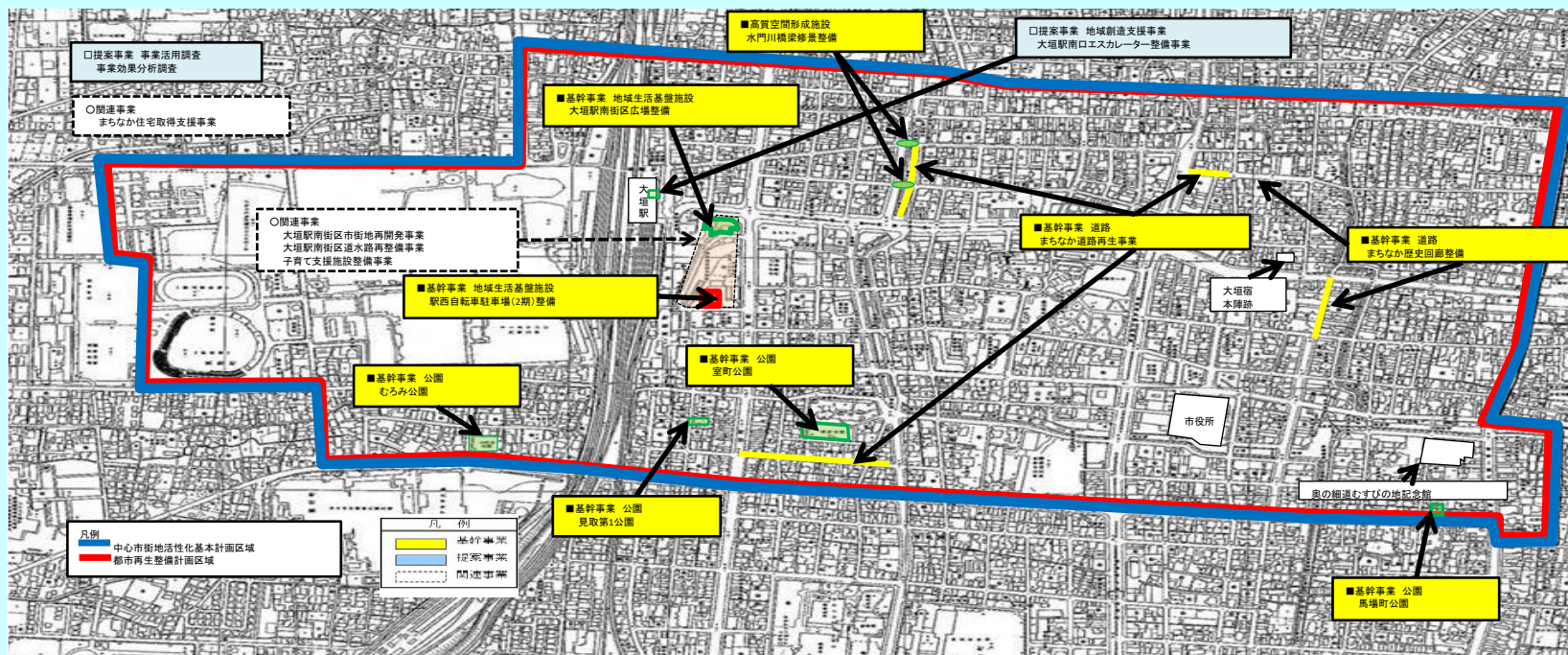
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	大垣市		地区名	大垣駅周辺地区			面積	168ha		
交付期間	平成26年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	750百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(まちなか歴史回廊整備、まちなか道路再生事業)、公園(見取第1公園、むろみ公園、馬場町公園、室町公園)、地域生活基盤施設(大垣駅南街区広場整備(※計画策定時は、事業名の前に「(仮称)」有り)、駅西自転車駐車場(2期)整備)、高質空間形成施設(水門川橋梁修景整備)									
			提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	-		-		-					
	新たに追加した事業		基幹事業	-		-		-					
			提案事業	大垣駅南口エスカレーター整備事業		基幹事業の駅西自転車駐車場(2期)整備と相まって、来訪者の増加を促進することで、計画の目標達成に資するため。		指標への影響が懸念されるが、指標への影響を推計する根拠データが不足しているため、目標値は据え置く。					
交付期間の変更		当初	平成26年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	平成26年度～平成29年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	駅周辺利便性満足度	%	18	H25	40	H29	モニタリング	評価値	○	あり	まちなかの道路や自転車駐車場、大垣駅南口エスカレーターの整備により、駅周辺の安全で快適な利用環境が形成され、来訪者や周辺住民の満足度の向上につながった。	-
	指標2	歩行者及び自転車通行量	人/日	9,747	H25	9,880	H29	-	10,250	○	あり	まちなか歴史回廊整備による風情ある都市景観の形成や自転車駐車場の整備等の実施により、来訪者が増加し、休日の歩行者及び自転車通行量の増加につながった。	-
	指標3	地区内公園の利便性満足度	%	24	H25	40	H29	-	46	○	あり	広場整備や遊戯施設の更新など、利用者のニーズや景観に配慮した計画的な整備の実施により、利用者が安らぎ・楽しめる空間が形成され、利用者の満足度の向上につながった。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4)定性的な効果発現状況	「以前より綺麗になった」、「色々なイベントをやっていて賑わっていると思う」という市民の声が寄せられた。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	市民参画によるワークショップ等の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、市民意向を確認しながら、計画的なまちづくりを推進していく。					
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくりに対する市民アンケートの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、アンケート等の手法により、市民の意見を聴取し、市民ニーズに対応した事業展開を図る。					

様式2-2 地区の概要

大垣駅周辺地区(岐阜県大垣市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 大垣駅周辺の賑わいと憩いの創出 目標1: 賑わいと活力ある中心地の再生 目標2: 中心地の交流と憩いの場づくり 目標3: 歴史的資源を活用した観光まちづくり	駅周辺利便性満足度	単位: %	18	H25	40	H29	42	H29
	歩行者及び自転車通行量	単位: 人/日	9,747	H25	9,880	H29	10,250	H29
	地区内公園の利便性満足度	単位: %	24	H25	40	H29	46	H29



まちの課題の変化

- ・まちなかの道路や自転車駐車場の整備などにより、駅周辺の利便性や地区の回遊性が向上し、中心市街地の拠点性の低下が抑制された。
- ・公園や水門川修景整備などにより、中心地における交流と憩いの場が創出された。
- ・駅周辺の利便性の向上に加え、歴史的・文化的な地域資源と一体となった整備を実施することで、地区内のイベント等他事業と相まって、来訪者の誘客が図られ、来訪者が増加した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 中心市街地の賑わい
- ・歴史的景観等との調和を図りながら、中心市街地内の整備を引き続き推進し、地区内の回遊性や魅力の更なる向上を図るとともに、商店街の空き店舗に出店する事業者等への支援をすることで、商業の活性化を図る。
- 交流と憩いの場の維持管理・創出
- ・安全かつ安心な利用環境を維持しながら、引き続き利用者のニーズに合わせた公園等の整備を進めるとともに、中心市街地内の新たな交流と憩いの場を創出し、地域コミュニティの活性化につなげる。
- 観光客の持続的な誘客
- ・奥の細道むすびの地や大垣まつりなどの歴史・文化等の資源を生かし、引き続き効果的なPRを実施し、観光客の持続的な誘客を図る。

都市再生整備計画事業 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

			変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他(目標年度)	●		平成28年度	平成29年度	計画期間の延長に伴い、目標年度を変更したもの。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	まちなか歴史回廊整備	47	L=670m	46	L=206m	事業規模の減 事業費の減	影響なし	●	
道路	まちなか道路再生事業	103	L=1,455m	61	L=437.5m	事業実施時期の変更(H27～28→ H27～29) 事業規模の減 事業費の減	影響なし		●
公園	見取第1公園	3	A=345㎡	3	A=345㎡	事業内容の一部変更	影響なし	●	
公園	むろみ公園	59	A=1,530㎡	55	A=1,530㎡	事業費の減 事業内容の一部変更	影響なし	●	
公園	馬場町公園	3	A=561㎡	3	A=561㎡	事業内容の一部変更	影響なし	●	
公園	室町公園	8	A=2,689㎡	8	A=2,689㎡	事業内容の一部変更	影響なし	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設(広場)	大垣駅南街区広場整備	271	A=1,142㎡	362	A=1,142㎡	事業箇所名の変更(事業名の確定) 事業実施時期の変更(H27～28→ H28～29) 事業費の増	影響なし		●
地域生活基盤施設(自転車駐車場)	駅西自転車駐車場(2期)整備	138	A=719㎡	140	A=702㎡	事業実施時期の変更(H27→H28) 事業規模の減 事業費の増	影響なし	●	
高質空間形成施設(緑化施設等)	水門川橋梁修景整備	3	2橋梁4箇所	3	2橋梁4箇所			●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	大垣駅南口エスカレーター整備事業	72	降りエスカレーター 新設1基	65	降りエスカレーター 新設1基	事業の追加 <追加理由> 基幹事業の駅西自転車駐車場(2 期)整備と相まって、来訪者の増加 を促進することで、計画の目標達 成に資するため。 事業費の減	影響なし	●	
事業活用調査	事業効果分析調査	4	事業効果分析調査	4	事業効果分析調査	事業実施時期の変更(H28→H29)	影響なし		●
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
大垣駅南街区市街地再開発事業		高屋町1丁目、宮町1丁目、見取町4丁目	2,594	2,762	平成22年度～平成27年度	平成22年度～平成28年度	整備済	
まちなか住宅取得支援事業		中心市街地活性化区域内	80	31	平成22年度～平成28年度	平成22年度～平成28年度	実施済	
大垣駅南街区道水路再整備事業		高屋町1丁目、宮町1丁目、見取町4丁目	208	178	平成24年度～平成27年度	平成24年度～平成28年度	整備済	市単独費にて実施
子育て支援施設整備事業		高屋町1丁目、宮町1丁目、見取町4丁目	170	191	平成27年度	平成28年度	整備済	市単独費にて実施

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	駅周辺利便性満足度	%	大垣駅周辺地区の来訪者に対し、アンケート調査(H29.9~10)を実施し、評価値とする。	-	-	18	H25	40	H29	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定見込み ●	42	事後評価	○		
指標2	歩行者及び自転車通行量	人/日	大垣駅周辺地区の休日歩行者・自転車交通量を調査(H29.5)し、評価値とする。	-	-	9,747	H25	9,880	H29	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定見込み ●	10,250	事後評価	○		
指標3	地区内公園の利便性満足度	%	大垣駅周辺地区の来訪者に対し、アンケート調査(H29.9~10)を実施し、評価値とする。	-	-	24	H25	40	H29	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定見込み ●	46	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	駅周辺利便性満足度は目標値を上回っているため、目標達成度は「○」とした。	-
指標2	歩行者及び自転車通行量は目標値を上回っているため、目標達成度は「○」とした。	-
指標3	地区内公園の利便性満足度は目標値を上回っているため、目標達成度は「○」とした。	-

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	事後評価				
その他の 数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング	-	-	-	-
									事後評価	確定 見込み	- -		
その他の 数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング	-	-	-	-
									事後評価	確定 見込み	- -		
その他の 数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング	-	-	-	-
									事後評価	確定 見込み	- -		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・「以前より綺麗になった」、「色々なイベントをやっていて賑わっていると思う」という市民の声が寄せられた。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
市民参画によるワークショップ等の開催	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	本計画の策定にあたり、市民を対象としたまちづくり関連の講演会及びワークショップを実施(H26.2)し、当該地区におけるまちづくりの課題等を整理するなど、市民意向を確認した上で計画を策定した。	引き続き、市民意向を確認し、計画的なまちづくりを推進していく。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
まちづくりに対する市民アンケートの実施	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	地区内の来訪者やイベントの参加者、市来庁者に対し、アンケート調査を実施し、計画に対する評価や今後のまちづくりへの要望を調査した。	実施主体:市	引き続き、アンケート等の手法により、市民の意見を聴取し、市民ニーズに対応した事業展開を図る。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価庁内検討会議(大垣駅周辺地区)	企画部(地域創生戦略課)、生活環境部(生活安全課)、経済部(商工観光課)、建設部(道路課)、都市計画部(都市計画課、市街地整備課、都市施設課)	平成29年10月30日(月) 平成29年11月6日(月)~10日(金)	企画部地域創生戦略課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1		指標2		指標3	
指標名		駅周辺利便性満足度		歩行者及び自転車通行量		地区内公園の利便性満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	まちなか歴史回廊整備	◎	まちなかの道路や自転車駐車場、大垣駅南口エスカレーターの整備により、駅周辺の安全で快適な利用環境が形成され、来訪者や周辺住民の満足度の向上につながった。	◎	まちなか歴史回廊整備による風情ある都市景観の形成や自転車駐車場の整備等の実施により、来訪者が増加し、休日の歩行者及び自転車通行量の増加につながった。	—	広場整備や遊戯施設の更新など、利用者のニーズや景観に配慮した計画的な整備の実施により、利用者が安らぎ・楽しめる空間が形成され、利用者の満足度の向上につながった。
	まちなか道路再生事業	◎		◎			
	見取第1公園	○		—			
	むろみ公園	○		—			
	馬場町公園	○		—			
	室町公園	○		—			
	大垣駅南街区広場整備	◎		◎			
	駅西自転車駐車場(2期)整備	◎		◎			
提案事業	大垣駅南口エスカレーター整備事業	◎	※大垣駅南街区広場整備は、指標計測時において未完成であり、評価できないため「空欄」とした。	◎	※大垣駅南街区広場整備は、指標計測時において未完成であり、評価できないため「空欄」とした。	—	
	事業効果分析調査	—		—			
関連事業	大垣駅南街区市街地再開発事業	◎		◎		—	
	まちなか住宅取得支援事業	◎		◎			
	大垣駅南街区道水路再整備事業	○		○			
	子育て支援施設整備事業	○		○			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	駅周辺における安全で快適な利用環境の形成に努め、住民等の満足度のさらなる向上を図る。	来訪者や地区住民のニーズに合った施策の展開を図り、中心市街地のさらなる魅力の向上を図る。	適正な維持管理や利用促進に努め、利用者数のさらなる増加を図る。
-------	--	--	---------------------------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度
 ××：事業が効果を発揮せず、
 指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、
 指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、
 ある程度の効果をあげたと思われる。
 ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
 明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価庁内検討会議(大垣駅周辺地区)	企画部(地域創生戦略課)、生活環境部(生活安全課)、経済部(商工観光課)、建設部(道路課)、都市計画部(都市計画課、市街地整備課、都市施設課)	平成29年10月30日(月) 平成29年11月6日(月)~10日(金)	企画部地域創生戦略課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
中心市街地の拠点性の低下	まちなかの道路や自転車駐車場の整備などにより、駅周辺の利便性や地区の回遊性が向上し、中心市街地の拠点性の低下が抑制された。	—	—
まちの賑わいの再生	・公園や水門川修景整備などにより、中心地における交流と憩いの場が創出された。 ・駅周辺の利便性の向上に加え、歴史的・文化的な地域資源と一体となった整備を実施することで、地区内のイベント等他事業と相まって、来訪者の誘客が図られ、来訪者が増加した。	—	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	中心市街地の賑わい	・歴史的景観等との調和を図りながら、中心市街地内の整備を引き続き推進し、地区内の回遊性や魅力の更なる向上を図る。 ・商店街の空き店舗に新店を出す事業者等への支援をすることで、商業の活性化を図る。	・郭町東西街区市街地再開発の推進 ・中心市街地リフレッシュサポート事業
	交流と憩いの場の維持管理・創出	・安全かつ安心な利用環境を維持しながら、引き続き利用者のニーズに合わせた公園等の整備を進める。 ・中心市街地内の新たな交流と憩いの場を創出し、地域コミュニティの活性化につなげる。	・身近な公園の整備 ・郭町東西街区市街地再開発の推進
	観光客の持続的な誘客	奥の細道むすびの地や大垣まつりなどの歴史・文化等の資源を生かし、引き続き効果的なPRを実施し、観光客の持続的な誘客を図る。	・観光宣伝啓発の推進 ・クールおおがきの推進

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	—	—	—
・未達成の目標を達成するための改善策	—	—	—
・未解決の課題を解消するための改善策	—	—	—
・新たに発生した課題に対する改善策	—	—	—

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

- 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
- 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
- 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
- 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
- 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	駅周辺利便性満足度	%	18	H25	40	H29	確定	42	○	あり	-	-	-
							見込み ●			なし			
指標2	歩行者及び自転車通行量	人/日	9,747	H25	9,880	H29	確定	10,250	○	あり	-	-	-
							見込み ●			なし			
指標3	地区内公園の利便性満足度	%	24	H25	40	H29	確定 ●	46	○	あり	-	-	-
							見込み			なし			
その他の数値指標1	-	-	-	-	/	/	確定	-	/	/	-	-	-
							見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	他事業との連携を意識した一体感のある整備を実施したことで、全ての指標が目標を達成した。	引き続き、他事業との連携を意識した事業展開を図ることで、相乗的な効果発現を目指す。
	うまく いかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	課題等の分析に基づく計画の策定及び事業展開により、全ての指標が目標を達成し、効果的な事業の実施が実現できた。	十分な課題分析のもと、数値目標を意識した効果的な事業展開を図る。
	うまく いかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	住民等の意向を把握した上で事業展開したことにより、満足度調査において高い数値を得られた。	住民等の意向を確認しながら、利用環境に配慮したまちづくりを進める。
	うまく いかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	平成29年11月13日～26日	平成29年11月13日～26日	担当部署への郵送、Eメール、ホームページからの意見投稿等	企画部地域創生戦略課
広報掲載・回覧・個別配布	市の広報に、事後評価原案を公表する旨を掲載	「広報おおがき」 平成29年11月1日号	平成29年11月13日～26日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	市役所内での閲覧	平成29年11月13日～26日	平成29年11月13日～26日		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・OKBストリートをもっと綺麗にしてほしい。 ・駅の南口エスカレーターができて楽になった。 ・商店街がもっと元気になってほしい。 ・以前に比べると綺麗な街になったと思う。
-------	--

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	岐阜大学地域科学部教授 西村 貢氏 名城大学都市情報学部教授 大野 栄治氏	平成29年11月29日(水)	企画部地域創生戦略課	大垣市都市再生整備計画事後評価委員会設置要綱	市独自で設置
その他の委員	(公社)日本技術士会中部本部岐阜県支部元幹事 高崎 豊氏				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--